

本書は、比較的大規模な地下構造物に対して、過去の地震被害の特徴、地震動および地震時地盤変形特性、応答変位法の基本的な考え方、動的特性、耐震計算法の考え方、免震設計や地震対策等、最近の新しい研究成果について記している。

対象を地震時挙動に共通点の多い地下構造物に限定したため、コンパクトな書物ながら内容は濃く、記述もわかりやすい。

最終章には、追加的に、地下街利用者への地震時防災についてのアンケート調査とその分析結果が示されている。耐震設計を一步遡った防災の一環として捉える編著者の姿勢がうかがえる。

また、巻末には豊富な参考文献リストが示されており、地下構造物の耐震設計の入門者にとっては大いに参考となる。【オ】

地下構造物の耐震設計

川島 一彦 編著

A 5判・186ページ。
定価4944円(税込)。
平成6年6月10日初版発行。
同年6月15日受付。
〒107 東京都港区
赤坂6-5-13
鹿島出版会発行。
TEL. 03-5561-2551



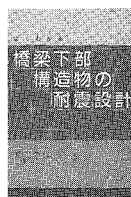
橋梁の下部構造を設計する際に、道路橋示方書の下部構造編と耐震設計編の両方をひっくり返している。その私が初心者に説明する場合に、静的設計と動的設計をうまく関連づけている本書は簡潔に両編の関連を説明するのに便利である。また、これから設計に携わろうという技術者にとっても、項目ごとの設計例が構造図・数値と共に記載されているため、部分の理解も容易である。字体を変えた見出し項目はインパクトがあり、内容の順序が一目で分かりやすく、何より図表が鮮明であるのが気に入った。

作用力や応力度計算は数値の羅列ではなくパソコン出力に沿った書式となっており、実務と照らし合わせながら勉強するには分かりやすいであろう。【お】

よくわかる橋梁下部構造物の耐震設計

矢作 枢・和田 克哉・五十嵐 功・五瀬 伸吾 著

A 4判・240ページ。
定価5800円(税込)。
平成6年7月5日初版発行。
同年7月11日受付。
〒113 東京都文京区
本郷5-5-18
山海堂発行。
TEL. 03-3816-1617



本書は長年土木技術者の宿命であり、多くの現場技術者の悩みであった軟弱地盤との戦いに直接参加した実務者たちの経験と知識を集め、軟弱地盤に対する興味を広げるとともに理解を深めるための基礎的な事項をまとめたものである。

軟弱地盤のメカニズムおよび地盤を改良する必要性の背景の説明をはじめ、既往の数多い地盤改良工法の解説と代表的な施工事例を工種別に紹介している。また、地盤改良工法の開発背景などの歴史が記載されているのが同類の他文献との違いである。ハイテク技術を導入した最新の調査、施工、管理システムの開発状況とそれらを利用した技術を紹介した章および、今後の地盤改良工法の方針性を述べた最後の章では土木人として使命感を感じさせる。【イ】

大地を甦らせる地盤改良

(ニュー・コンストラクションシリーズ、第3巻)

平岡 成明・平井 孝典 編著

A 5判・474ページ。
定価5500円(税込)。
平成6年8月10日初版発行。
同年8月30日受付。
〒113 東京都文京区
本郷5-5-18
山海堂発行。
TEL. 03-3816-1617

